



笑う門には 福来たる

(株)日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

わたしへの詩
 わたしの詩は
 生きろための苦しみ
 生きろための泣き
 生きろための喜び
 生きろための涙
 生きろための愛
 生きろための夢
 生きろための希望
 生きろための未来
 生きろための希望
 生きろための未来
 生きろための希望
 生きろための未来

坂村真民

坂村真民記念館 (砥部町)

明朗・愛和・喜働

春の到来を告げる

季節を表わす二十四節気の一つに「清明」があります。

これは、すべてのものが清らかで明るく生き生きとしている様子を意味していて、本格的な春の到来を告げる節目であり、今年も四月五日となっています。

沖繩県では、この頃に「清明祭」(シーミー)というお墓参りの行事があり、高速道路の電光掲示板で渋滞が注意喚起されるほどの一大イベントになっています。

当日は、親族ができる限り予定を合わせてお墓に集まり、重箱に備えた料理をいただきながら、にぎやかに過ごします。

そのようにして祖父母、両親、子供といった様々な世代がにぎやかに過ごすことで、祖先への感謝を伝える意味合いがあるといえます。

本州においては、この頃ソメイヨシノが見頃を迎えます。家族や友人、会社の同僚たちとお花見をする人も多いのではないのでしょうか。

暖かく、麗らかな春の日に、親しい人々と過ごす時間を大切にしつつ、業務に励む気力を培っていききたいものです。

◆親しい人と語りましょう

「職場の教養」より

弥次さん喜多さんの像(京都府京都市)

三条大橋の西側のたもとに、旅装束を身につけた2人組の銅像が建つ。表情豊かな2人は、江戸時代にベストセラーとなった十返舎一九の滑稽本「栗海道中膝栗毛」の主人公・弥次郎兵衛と喜多八だ。本作に収録された物語中で2人はさまざまな騒動を起こしながら珍道中を繰り広げ途中で買わされたハシゴを担いで三条大橋近くの宿にやって来たという笑い話がある。像の足元には旅の安全を祈願する「撫で石」もあり、2人は橋を渡る人々を見守っている



日本再発見!

髪の色が減っても同じ散髪代

健



笑顔がつながる
朗らかな挨拶

